

## 経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

## ① 目指す姿と数値目標

2030年ビジョン

高い技術に裏打ちされたプラント設備・環境機器製品のトップメーカー、かつ運用・保全サービスによる顧客の経営パートナー

売上高  
700億円営業利益  
70億円営業利益率  
10.0%時価総額  
500億円以上

## ② 中長期の経営戦略

## 1. 国内収益基盤の強化

全部門のレベルアップにより製品力を向上させ、国内売上高営業利益率を一桁から10%に引き上げる

## 3. 新規事業の推進

M&amp;A実施（宇部興機、松田機工）含め経営資源投入し、10年後に100億円の売上創出を目指す

## 2. 海外売上の確立

タイ・インドネシアにおける攻め方を変えて強化し、ASEAN顧客基盤を拡大

## 4. カーボンニュートラル対応

2050年にCO2排出量実質ゼロを目指し、低炭素燃料・中温化合物などの製品開発を推進

## ③ 対処すべき課題

## ① AP事業の収益性向上

- ・ 原材料費・エネルギーコスト高騰が続く中、VPシリーズの販売比率向上で改善
- ・ GX対応中温化合物普及、水素・バイオマス燃料バーナの脱炭素製品開発

## ② BP事業の国内シェア拡大

- ・ 生コン工場3,396箇所（2015年末）から3,007箇所（2024年度末）に減少する中、差別化を推進
- ・ トータル管理・プラント支援センター・モバイルプラント拡販による競争力強化

## ③ メンテナンス事業の安全対策

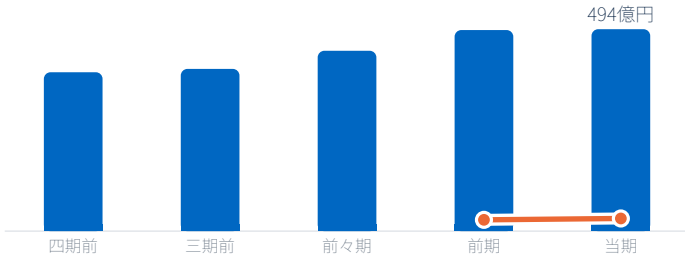
- ・ 年間12,000件以上のプラント工事での労働災害撲滅を最優先
- ・ 作業管理アプリ「みまもり君」開発によるリスク管理強化、協力店との安全衛生支援

## 面接で使えるポイント

- ・ 2030年ビジョン達成に向け、2024年度までの『内部投資フェーズ』で日工単体86名増員・研究開発費18億円強投資。
- ・ 国内AP事業シェア8割、BP業界で競争力あるも、低炭素燃料・中温化合物など環境対応製品開発で2050年CO2実質ゼロを…
- ・ M&A（宇部興機・松田機工）による製造請負事業強化と新規事業創出で、10年後100億円売上目標。

証券コード 6306

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高  
49.4億円営業利益率  
6.3%財務健康度  
44点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 58.9（当サイト算出の参考指標）

平均年収  
756万円

機械内 56位/208社

平均年齢  
39.0歳

機械内 194位/209社

平均勤続  
13.4年

機械内 161位/209社

女性管理職  
1.9%

機械内 138位/168社

男性育休  
75.0%

機械内 108位/169社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 江井島の日工株式会社で「にっこうマルシェ」が5月24日開催！

